

日本センチュリー交響楽団 三重特別演奏会 演奏曲変更のお知らせ

2020年6月16日

2020年10月18日(日曜日)に開催予定「日本センチュリー交響楽団 三重特別演奏会」におきまして、日本センチュリー交響楽団(首席指揮者:飯森範親)と三重県文化会館は、新型コロナウイルス感染症対策について協議を重ねてまいりました。

<ホルスト:組曲「惑星」作品32>の演奏を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症対策の関係から準備も含めてこの演目の実施が不可能と判断いたしました。つきましては当演奏会は下記の通り曲目を変更して開催いたします。

▶日本センチュリー交響楽団 三重特別演奏会

[日時]2020年10月18日(日曜日) 15:00開演(14:15開場)

[会場]三重県総合文化センター 三重県文化会館大ホール

[出演]飯森範親(日本センチュリー交響楽団首席指揮者)

[プログラム(変更前)]

モーツァルト:交響曲第41番 八長調 K.551 「ジュピター」

ホルスト:組曲「惑星」Op.32



[プログラム(変更後)]

モーツァルト:交響曲第41番 八長調 K.551 「ジュピター」

メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲ホ短調 Op.64(ソリスト:三浦文彰) (変更)

ベートーヴェン:交響曲第6番 へ長調 Op.68 (変更)

本件に関する
お問い合わせ

公益財団法人 日本センチュリー交響楽団

〒561-0885 大阪府豊中市岡町1-1 きたしん豊中ビル6F
TEL:06-6848-3333

三重県文化会館 事業課 (指定管理者:公益財団法人三重県文化振興事業団)

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234
TEL:059-233-1112

▶ソリストプロフィール

ヴァイオリン

三浦 文彰 *Fumiaki MIURA*



©Yuji Hori

2009年世界最難関とも言われるハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。国際的に一躍脚光を浴びた。

東京都出身。両親ともにヴァイオリニストの音楽一家に生まれ、3歳よりヴァイオリンを始め安田廣務氏に、6歳から徳永二男氏に師事。

2003年、04年と全日本学生音楽コンクール東京大会小学校の部第2位、2006年4月ユーディ・メニューイン国際ヴァイオリンコンクール・ジュニア部門第2位などを受賞。2009年10月には、ハノーファー国際コンクールにて史上最年少で優勝。同時に、聴衆賞、音楽評論家賞も受賞。地元紙では「確かな技術と、印象的なヴィルトゥオーゾ性あふれる心温まる演奏は、国際審査員や音楽評論家の評価を得るにとどまらず、聴衆の心をもつかんだ」と賞賛した。また、The Strad誌は、「驚くべきその演奏がハノーファー国際コンクールを席卷した」と評した。

これまで国内主要オーケストラはもとより、ロサンゼルス・フィル、ロイヤル・フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィル、マリンスキー劇場管、チャイコフスキーシンフォニーオーケストラ、NDRエルプ・フィル、ハノーファーNDRフィル、シュトゥットガルト放送響、フランクフルト放送響、プラハ・フィル、オタワ・ナショナルアーツセンター管、ユタ響、オレゴン響、コロビア響、ワルシャワ・フィル、バーゼル響、ウィーン室内管、ローザンヌ室内管、香港シンフォニエッタなどと共演。共演した指揮者には、ドゥダメル、ゲルギエフ、フェドセーエフ、ズーカーマン、カンブルラン、クリスティアン・ヤルヴィ、フルシャ、ドゥネーブ、大野和士などが挙げられる。

また、国際音楽祭にもたびたび招かれ、サンクトペテルブルクの白夜祭、モスクワのオレグ・カガンメモリアルフェスティバル、ブラウンシュバイクフェスティバル、宮崎国際音楽祭、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、マントン音楽祭、ラクリン&フレンズ音楽祭、メニューイン・フェスティバルなどに出演。ペンデレツキ80歳記念演奏会では、ペンデレツキ自身の指揮で演奏。さらにリサイタルでも、ルーブルでのパリ・デビュー、ウイグモアホールでのロンドン・デビューは絶賛を博した。

NHK大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏したことやTBS「情熱大陸」への出演も大きな話題となった。

18年10月からスタートしたサントリーホールARKクラシックスではアーティストティック・リーダーに就任して、音楽祭を主宰する念願を果たした。

19/20年シーズンのハイライトは、ドゥダメル指揮ロスフィル、白夜祭でのゲルギエフ指揮マリンスキー劇場管、ズーカーマン指揮バルセロナ響、ティチアーティ指揮ベルリン・ドイツ響、ロウヴァリ指揮エーテボリ響、エストラーダ指揮フランクフルト放送響、ポーガ=ケルン放送響、ダウスゴー指揮BBCスコティッシュ響、リットン指揮都響、モスクワ・ソロイスト、オルフェウス室内管、ウィーン室内管などとの共演が挙げられる。また、ピリスとのデュオリサイタル、ズーカーマンとの室内楽、バシュメットとの室内楽、スペインや日本でのリサイタルツアーも予定されるなど、国際的活動の場を広げている。

CD録音も活発に行っており、リントウ指揮ベルリン・ドイツ響と共演した「チャイコフスキーとメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲」、「名曲コレクション」などをエイベックス・クラシックスよりリリース。

09年度第20回出光音楽賞受賞。19年Forbes「30 UNDER 30 JAPAN」(世界を変えていく30歳未満の30人)に選出された。

これまでに、ザハール・ブロン、ジャン=ジャック・カントロフ、チョーリヤン・リン、パヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。(公財)明治安田生命クオリティオブライフ文化財団より奨学金を得て、ウィーン私立音楽大学に入学、パヴェル・ヴェルニコフ氏、ジュリアン・ラクリン氏のもとで研鑽を積んだ。

使用しているヴァイオリンは、宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス 1704年製作 "Viotti"。